

iichiko
総合文化センター
大分県立美術館

総合情報誌

大分県芸術文化スポーツ振興財団
Oita Prefecture Arts, Culture and Sports Promotion Foundation

2019 WINTER vol.87

Take Free

特集

2020年 大分県立美術館・iichiko 総合文化センター ラインナップ
iichiko 総合文化センター 20年の軌跡
バレエ「眠れる森の美女」
ヨーロッパの宝石箱 リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展

Do you know where this is?
ここはどこでしょう？

iichiko 総合文化センター LINE UP

9/25(金)
9/26(土)

日生劇場ファミリーフェスティバル 2020
NHKみんなのうたミュージカル
『リトル・ゾンビガール』

9/25(金)…小学生招待公演
26(土)…一般公演(未就学児入場可)

NHK「みんなのうた」の歴代の名曲を親子で楽しもう!

時を超えて愛される「みんなのうた」に合わせて、世代を問わず家族で楽しめる物語を最高の舞台でお届けします。

出演:上白石萌音、伊藤理々杏(乃木坂46)、コング桑田、エハラマサヒロ、RiRiKA、一路真輝 他

12/7(月)
開演時間
未定

OPAM開館5周年記念

パーヴォ・ヤルヴィ指揮

ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

ベートーヴェン生誕250年
海外有名オーケストラ久々の大分公演



指揮:パーヴォ・ヤルヴィ
管弦楽:ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団



パーヴォ・ヤルヴィ(指揮)

ベートーヴェン
交響曲第7番 長調 ほか
全席指定
GS席10,000円、S席8,000円、
A席6,000円、B席4,000円、
C席2,000円
U25割:A・B・C席のみ半額

上記イベントの会場は全て、iichiko総合文化センター iichikoグランシアタで開催します。
[問] iichiko総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団] 097-533-4004

6/4(木)
18:30開場
19:00開演

小曽根真 featuring No Name Horses
Until We Vanish 15×15 15th Anniversary 2020

グランシアタがスウィングで揺れる! 今、一番聴きたいビッグバンド

日本を代表するジャズピアニスト
小曽根真と彼の率いるビッグバンドの結成15周年の記念ツアー

出演:No Name Horses(小曽根真、エリック宮城、木幡光邦、奥村晶、岡崎好朗、中川英二郎、山城純子、近藤和彦、池田篤、三木俊雄、岡崎正典、岩持芳宏、中村健吾、高橋信之介)スペシャル・ツアーメンバー:山岸竜之介(エレキギター)

全席指定

S席5,000円、A席4,000円、
B席3,000円
U25割:各半額



©Ayumu Kosugi

10/24(土)
開演時間
未定

グランドオペラ共同制作
ブッチーニ作曲オペラ
『トゥーランドット』
全3幕

ブッチーニの大いなる遺作
14年ぶりの大分公演

求婚者に謎をかけ、解けないと処刑する絶世の美女トゥーランドット姫と彼女に恋した流浪の王子カラフの物語。

全席指定

GS席13,000円、S席11,000円、
A席9,000円、B席7,000円、
C席5,000円、D席3,000円
U25割:A・B・C・D席のみ半額



アルベルト・ヴェネロージ(指揮)

指揮:アルベルト・ヴェネロージ
管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団
合唱:二期会合唱団
演出:大島早紀子、照明:沢田祐二
装置:二村周作、衣裳:朝月真次郎
舞台監督:八木清市、振付助手:白河直子

大分ベートーヴェン・プロジェクト2020

2020年のベートーヴェン生誕250年を記念し、大分県内のオーケストラ関係団体が協働し、ベートーヴェンの交響曲第1番から第9番までの全曲を演奏するプロジェクトです。特別団体として、12月にはベートーヴェンの交響曲演奏で世界最高の評価を得ている「ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団(パーヴォ・ヤルヴィ指揮)」を招聘します。

全公演ご来場いただいたお客様全員には、お得な特典もご用意いたします。ご期待ください。

お友だちの分も一緒にOK!
※枚数制限があります

有料会員特典内容の一例

iichiko総合文化センター特典
先行予約 & チケット割引ができる

iichiko総合文化センターが主催、共催または指定する公演のチケットが一般発売前に10%割引等メンバー価格で購入できます。※主催の公演であっても、公演やチケットの種類によっては特典の内容が異なる場合があります。

メンバーステージと年会費

法人	KOTOBUKI	TAKASAGO	UME	MEJIRO
50,000円(1口)	10,000円	5,000円	2,500円	無料

※びび割とU25割の併用はできません。 ※メンバー期間は入会日または更新日から1年 経過した日の属する月の月末までです。

坂茂建築展
仮設住宅から美術館まで

4/24(金)
6/21(日)



スワッチ本社 ©Didier Boy de la Tour

世界が注目する日本人建築家
坂茂氏の大型個展

大分県立美術館の開館5周年を記念し、同館の設計者で、プリツカー賞受賞者の坂茂氏の展覧会を開催します。坂氏が手がけた美術館やコンサートホールなどの数々の建築物から被災地支援の活動まで、その取り組みの全貌を紹介。大分県立美術館の建物の特性をフルに活用し、坂氏が設計にあたりコンセプトの柱においた「街に開かれた縁側としての美術館」を体感いただける機会となります。

6/5(金)
8/9(日)

相田みつを全貌展

休展日:7/6(月)~8(水)

「いのちの詩人」相田みつを作品一挙公開!

栃木県足利市に生まれた相田みつを(1924-1991)は、戦中戦後の動乱期に書の世界に身を投じ、「いのち」の尊さを見つめながら、独特の書体で自らの言葉を書く作風を確立しました。1984年の作品集『にげんだもの』がベストセラーとなり、広い世代の共感と感動を呼んでいます。本展は、生きる勇気を与えてくれる相田みつをの世界を、初期から晩年にかけての代表作の約250点(前期・後期)と貴重な資料を通してご紹介する展覧会です。



宇治山哲平「やまとごころ」

10/30(金)
11/29(日)

生誕110年
宇治山哲平にみる
「やまとごころ」

初期から晩年まで宇治山芸術の集大成

日田市出身の洋画家・宇治山哲平(1910-1986)は生誕110年を迎えます。本展では、宇治山芸術の源泉となった故郷天領日田の自然や文化を掘り起こすことで、作品の魅力を再検証します。初期の版画作品から戦後の「卓上シリーズ」、鮮やかな色面構成による抽象の「絵画シリーズ」を経て、晩年の静謐で日本情緒あふれる「やまとごころシリーズ」の結実に至るまで、生涯にわたる代表作を一堂にご紹介します。

企画展・コレクション展は
何回観ても無料!!
※KOTOBUKI・TAKASAGO限定

OPAM特典
無料鑑賞・割引がある

大分県立美術館(OPAM)主催の企画展の無料鑑賞や内覧会ご招待など。

いろいろおトクな
「びび」会員が
とっても
オススメです!



駐車場券進呈も! /

メンバー有効期限内、法人は40時間(8千円分)、KOTOBUKIは25時間(5千円分)、TAKASAGOは10時間(2千円分)の駐車場券を進呈します。

詳細は裏表紙へ

OPAM LINE UP



クロード・モネ(睡蓮)1908年
©東京富士美術館イメージ・カブ
DNPartcom.jpg

7/22(水)
9/6(日)

西洋絵画400年の旅
—珠玉の東京富士美術館コレクション—

モネ、ルノワール、ゴッホ OPAM初の本格的西洋絵画展

東京富士美術館の西洋絵画コレクションは、16世紀のイタリア・ルネサンス絵画から20世紀の近現代絵画まで、400年にわたる西洋絵画史を一望できる充実したものです。本展では、その中から厳選した約80点により、華麗なる西洋絵画の流れをご紹介します。世界の美術ファンを魅了するモネ、ルノワール、セザンヌ、ゴッホ、シャガールなど近代の人気作家に加え、ティントレット、アントニー・ヴァン・ダイクなど、日本ではあまり見る機会のない巨匠たちもご紹介し、芳醇な西洋絵画の世界をご堪能いただけます。

11/21(土)
2021
1/17(日)

MANGA都市TOKYO
ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮2020

休展日:12/21(月)

パリも熱狂!
日本が誇る「マンガ」と都市がシンクロ!

国立新美術館が2018年パリで開催した「MANGA⇄TOKYO」展が、装いを新たにいよいよ日本で開催されます!日本のマンガ、アニメ、ゲーム、特撮作品を、大都市・東京を軸に横断的に紹介するかつてない展覧会です。パリの観客を驚かせた圧巻の映像、貴重なオリジナルの原画や制作資料など、今も多くのファンに親しまれている約90タイトルをご紹介します。国内では国立新美術館と当館、2会場のみの開催です。お見逃しなく!



展示会オリジナルキャラクター ヨリコ(右)とウィッピー(左)
イラストレーション:吉成曜
©2018 OPMA All Rights Reserved.

2021
2/19(金)
5/9(日)

びじゅチューン!×OPAM
なりきり美術館

なりきると、
びじゅつがどんどん楽しくなる!

OPAMにNHK Eテレ「びじゅチューン!」がやってきます!

「見返り美人図」や「麗子微笑」「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」など、「びじゅチューン!」で歌になったびじゅつ作品の複製や映像を使った体験展示を行います。キーワードは「なりきり」。絵に登場する人物や絵を描いた人になりきって、びじゅつのなかで遊んでみよう! また、「びじゅチューン!」のコンテンツに関連した多くの美術作品も紹介します。





2015年
首藤康之 演出・振付
バレエ
『ドン・キホーテ』

大分県立美術館開館記念、そしてこの年の大分県民芸術文化祭開幕行事として上演。全てを1日の出来事にするなど、細部まで工夫を凝らした首藤康之さんの演出・振付は、県内外から高い評価をいただきました。



2012年
マリインスキー
歌劇場管弦楽団

指揮/ワレリー・ゲルギエフ
ゲルギエフ指揮による圧巻のショスタコヴィチ交響曲第11番「1905年」。東京以外でこの組合せのプログラムを聴ける機会はおそらくないでしょう。



2003年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 指揮/クリスティアン・ティレマン
開館5周年記念特別事業。演奏曲目はベートーヴェン「田園」とR.シュトラウス「英雄の生涯」。

iichiko
総合文化センター
20周年
公演アルバム
1998→2019

覚えていませんか？ 数々の感動を。開館から現在までに行われた主な主催・共催公演を観客の声と共に振り返ります。

※過去20年に行われた公演のうちから一部を掲載しています。



2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999	1998		
11/29 10/22	9/13 6/19	11/10 10/4	9/1 5/9	12/12 11/6 10/12	9/7 5/19	4/29 1/7	12/11 11/1	9/7 6/3	11/18 10/24 10/7	12/12 10/15		
バレエ	オペラ	海外オペ	海外オペ	海外オペ	海外オペ	海外オペ	海外オペ	海外オペ	海外オペ	海外オペ		
ロシア国立ポリシヨイバレエ「白鳥の湖」	モンテカルロフィルハーモニー管弦楽団指揮 西本智美 松本幸四郎 中村梅玉	フランス国立リヨン管弦楽団指揮 準メルクル	ベルリン・フィル八重奏団 二代目 中村錦之助 襲名披露	ワルシャワ室内歌劇場オペラ「ドン・ジヨハニ」 ウクライナ国立キエフバレエ団&管弦楽団 バレエぐるみ割り人形	ゲルギエフ指揮 ロッセルタム・フィルハーモニー管弦楽団 指揮 レオシュコフスキー 二代目 中村魁春 襲名披露 双蝶々曲輪日記 引恋、襲名披露「口上」 道行旅路の花笠「落人」	シルヴィエ・ギエム「三つの愛の物語」 四代目 尾上松緑 襲名披露 ▼天衣粉上野初花河内山、襲名披露「口上」棒しばり ウイン・フレイム「ト」管弦楽団指揮 クリステン・ティレマン キーロフ・バレエ「ロミオとジュリエット」	ソフィア国立歌劇場オペラ「ラ・ボエーム」 ▼修禅寺物語、襲名披露「口上」太刀盗人 ▼ソフィア国立歌劇場オペラ「ラ・ボエーム」	ブラハ国立スタヴオフスケー劇場オペラ「魔笛」 レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」 ロイヤル・バレエ「眠れる森の美女」 ロンドン交響楽団指揮 ビエール・レーヴ 片岡我賞、片岡秀太郎 ▼修禅寺物語、襲名披露「口上」太刀盗人 ▼ソフィア国立歌劇場オペラ「ラ・ボエーム」	ベルリン放送交響楽団指揮 ラテメル・フリードマン・ツァルリス ▼「黄金のフアラオ」、「美麗猫」 「星組」稔幸	チェコ国立ブラハ国民歌劇場オペラ「カルメン」 イ・ムジチ合奏団 ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団指揮 リック・カドシャイ 二期会ファミリーオペラ「ヘルとグレーテル」 市川團十郎 市川新之助 ▼毛抜 お目見得「口上」、道行旅路の花笠「落人」 ベルリン放送交響楽団指揮 ラテメル・フリードマン・ツァルリス ▼「黄金のフアラオ」、「美麗猫」 「星組」稔幸	ワシントン・ナショナル交響楽団指揮 レナード・スラトキン 「月組」紫吹淳 壇れい ▼「うたかたの恋」、「ミリオンドリームス」 英国エディンバラ国際フェスティバル共同制作 オペラ「トワーランドット」 アリシア・テラロッチャ 十五代目 片岡仁左衛門 襲名披露 ▼鳴神、襲名披露「口上」、廓文章「吉田屋」、 双蝶々曲輪日記	二期会オペレッタ「ごもり」 「月組」紫吹淳 壇れい ▼「うたかたの恋」、「ミリオンドリームス」 英国エディンバラ国際フェスティバル共同制作 オペラ「トワーランドット」 アリシア・テラロッチャ 十五代目 片岡仁左衛門 襲名披露 ▼鳴神、襲名披露「口上」、廓文章「吉田屋」、 双蝶々曲輪日記

2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009
9/12	4/24	11/1 10/31 10/28	7/23 1/20 21	11/11 11/14 4/5 3/12 11	11/11 9/25 9/22 9/8 3/14 2/25	10/9 7/7 3/30 3/1	11/23 9/26 9/12	5/8 11/27	10/9 9/29 4/10	12/1 10/4 9/12 4/3
宝塚	歌舞台	歌舞台	歌舞台	歌舞台	歌舞台	歌舞台	歌舞台	歌舞台	歌舞台	歌舞台
▼「宙組」真風涼帆、星風まどか ▼「追憶のバルボロナ」、「NICE GUY!!」	二代目 松本白鸚 襲名披露 十代目 松本幸四郎 襲名披露 ▼襲名披露「口上」、菅原伝授手習鑑 加茂境「車引」、奴道成寺 ▼「宙組」真風涼帆、星風まどか	かがみのかなたはたなかのなかに 八代目 中村芝翫 襲名披露 四代目 中村橋之助 襲名披露 三代目 中村福之助 襲名披露 ▼人情斬文七元結 襲名披露「口上」棒しばり 共同制作オペラ「アイーダ」 東宝ミュージカル マイフェアレディ	共同制作オペラ「さまよえるオランダ人」 「共催」ロイヤル・イタリア歌劇場オペラ「ラ・ボエーム」 市川猿之助、市川門之助、坂東巳之助、市川猿弥、市川春猿 ▼「獨道中五十二驛 浄瑠璃 お半長吉」写書東驛路」 エリック・サティ生誕100年記念 サティをめぐる音楽と絵画	「共催」バルマ王立歌劇場提携オペラ「リゴレット」 共同制作オペラ「オテロ」 ハイツ・ホリガーと友人たち 首藤康之演出・振付 バレエ「ドン・キホーテ」 尾上菊之助、市川團蔵 ▼教筆吉原雀、魚屋宗五郎 「雪組」早霧せいな、咲妃みゆ ▼「哀しみのルドルフ」、「La Esmeralda」 カナテア・ソラリス	「共催」バルマ王立歌劇場提携オペラ「リゴレット」 共同制作オペラ「オテロ」 ハイツ・ホリガーと友人たち 首藤康之演出・振付 バレエ「ドン・キホーテ」 尾上菊之助、市川團蔵 ▼教筆吉原雀、魚屋宗五郎 「雪組」早霧せいな、咲妃みゆ ▼「哀しみのルドルフ」、「La Esmeralda」 カナテア・ソラリス	佐渡裕指揮 シエナ・ウインドオーケストラ フュラ放送交響楽団指揮 オン・ドレイ・レナルト 三代目 中村又五郎 襲名披露 四代目 中村歌昇 襲名披露 ▼沼津、襲名披露「口上」連獅子 中村恩恵×首藤康之 Shakespeare THE SONNETS 小林道夫 生誕80年記念室内楽コンサート 小林道夫・市川猿之助 弦楽四重奏団 四代目 市川中車 襲名披露 九代目 市川中車 襲名披露 ▼小栗栖の長兵衛 襲名披露「口上」、義経千本桜「川運法眼暗」の場 カナテア・ソラリス	「花組」蘭寿とも、蘭乃はな ▼「長い春の果てに」、「カノン」Our Melody 市川右近、市川門之助 ▼歌舞伎のみかた、熊谷陣屋、女伊達 東宝ミュージカル「DADDY LONG LEGS」 ゲルギエフ指揮 マリインスキー歌劇場管弦楽団 大分二期会制作オペラ「魔笛」	「共催」バルマ王立歌劇場提携オペラ「リゴレット」 共同制作オペラ「オテロ」 ハイツ・ホリガーと友人たち 首藤康之演出・振付 バレエ「ドン・キホーテ」 尾上菊之助、市川團蔵 ▼教筆吉原雀、魚屋宗五郎 「雪組」早霧せいな、咲妃みゆ ▼「哀しみのルドルフ」、「La Esmeralda」 カナテア・ソラリス	「共催」バルマ王立歌劇場提携オペラ「リゴレット」 共同制作オペラ「オテロ」 ハイツ・ホリガーと友人たち 首藤康之演出・振付 バレエ「ドン・キホーテ」 尾上菊之助、市川團蔵 ▼教筆吉原雀、魚屋宗五郎 「雪組」早霧せいな、咲妃みゆ ▼「哀しみのルドルフ」、「La Esmeralda」 カナテア・ソラリス	

2000年ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団
指揮/リック・カドシャイ
オランダ王立の世界最高峰の管弦楽団。日蘭交流400周年記念事業として開催。演奏曲目はバッハ管弦楽組曲第1番とマラー交響曲第4番。ソプラノはユリアーネ・バンゼ。

2001年
レニングラード
国立バレエ
『白鳥の湖』
財団主催としては2回目
のオーケストラ付き
のバレエ公演。開館間
もないグランシアタの
舞台機構のすばらしさ
を実証する機会になり
ました。



2018年
ミュージカル
『マイ・フェア・レディ』

「OASISひろば21」開館20周年記念事業として上演。不朽の名作を朝夏まことと神田沙也加が新演出で好演。2日間とも完売御礼、大盛況の舞台となりました。



2015年
共同制作オペラ
『オテロ』

記念すべき共同制作オペラの1作目。豪華なキャスト、大規模な合唱と舞台装置に圧倒されました。沼尻竜典さん指揮による京都市交響楽団の演奏がさらに舞台を盛り上げました。



2007年
ベルリン・フィル八重奏団
& 上原彩子

ベルリン・フィルのメンバーで構成される歴史ある八重奏団と、2002年チャイコフスキー国際コンクール第1位の上原彩子による公演。ポピュラーなプログラムの華やかな公演でした。

2010年
iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラ
第11回定期演奏会 指揮/下野竜也
下野竜也さんを迎えてのジュニアオーケストラデビュー公演。メインプログラムはチャイコフスキー交響曲第5番でした。

バレエ 眠れる森の美女

THE Sleeping Beauty
Direction & Choreography by Yasuyuki Shuto

Illustration: Izuru Aminaka

INTERVIEW

演出・振付 首藤康之さん インタビュー

2019年3月にオーディションを実施し、5月にスタートした『眠れる森の美女』。8月・11月に集中レッスンが行われ、いよいよ舞台の全容が見えてきました。いったい、どんな新しいバレエを魅せてくれるのか、演出・振付を手掛ける大分県出身の世界的ダンサー・首藤康之さんにお話を伺いました。



特別編成の管弦楽もリハーサルを9月から定期的に行っています。

10/30(水) 首藤康之 知事表敬訪問



首藤康之さんなど5名が広瀬議員知事を訪れ、来年2月9日(日)の上演を報告しました。最初に廣瀬 祐宏 iichiko 総合文化センター館長から、本年度最大の主催事業で、特別編成のオーケストラを従えての総勢200名以上のスケールで上演することなどが伝えられました。続いて首藤さんから作品を選んだ理由や、大分でのバレエとの出会いが今回の上演に繋がったことなどが語られ、広瀬知事から労いの言葉、「手応えを感じています。ラグビーワールドカップの勢いに負けないよう、がんばります!」と力強い言葉が。また、オーロラ姫役の佐藤香名さんに対して、「体調を整えてがんばってください」と知事から激励の言葉をいただきました。終了後、記者からの質問に首藤さんは「一人でも多くの人に、大分のみならず創ったバレエを観てほしい」と意気込みを語りました。



「バレエ初心者の方にも分かりやすいよう、各幕の注目すべき見どころを教えてください。」
「眠れる森の美女」はプロローグ付きの全3幕からなる壮大なバレエですが、僕のバージョンはプロローグと1幕の間に、中村恵恵さんが演じる悪魔の精カラボスの館のシーンがあります。また1幕のオーロラ姫 16歳の誕生日に、4人の王子相手に踊られるローブアタージュ、2幕には福岡雄大さん演じるデジレ王子の登場ヴァ

リエーション、3幕の宝石や青い鳥のディヘルティスマン、そしてオーロラ姫とデジレ王子の結婚のパ・ドゥ・ドウ...と見どころを挙げたらきりがありませんね(笑)。
「5、8、11月の振付を終え、作品の全体像が見えてきました。当初構想していた演出から変わってきたことはありますか?」
「変わってきたようなことはありません。当初のイメージ通り進んでいます。」

「大分で、生演奏のオーケストラによるバレエ公演を観ることはほとんどありませんが、生演奏の良さはどの辺りでしょうか?」
「やはり高揚感とでも言うのでしょうか。これはお客様も出演者も得ることができると感じています。」
「衣裳や舞台装置などについても決まってきたらと思います。ごだわりをお聞かせください。」
「衣裳は全部で150着以上...まだ

まだ試行錯誤している段階です。装置も絢爛豪華なものになる予定です!」

「デジレ王子の福岡さん、カラボスの中村さんをはじめ、主要キャストはどのようなキャラクターになりそうですか?」

福岡さんとは前回の『ドン・キホーテ』でも一緒に働かせていただいていますし、僕が最も信頼がおけるダンサーですから、彼らしい王子像を構築していただくと思えます。前回はよりキャラクター色が強い役だったので、今回はまた違った、ノールでスマートな一面が観られることと思います。今回「眠れる森の美女」と決めたときに、中村さんの演じるカラボスが一番に頭に浮かびました。バレエ演目のカラボスはあまり美しくなく、ただ怒っ

ているだけの表現になりがちですが、中村さんが演じれば美しく、その怒りに到達する過程までもが身体から発せられると思えました。本番が非常に楽しみです。」

「今回のメインビジュアルは、大分県立芸術文化短期大学出身のイラストレーター、網中いつるさんをお願いされていますが、完成したビジュアルは実際の舞台でも使用されるのでしょうか? また、どのようなインスピレーションが湧いてきましたか?」

「当初舞台では使わない予定でしたが、網中さんの描いてくださったビジュアルがあまりにも素敵だったので、今は使用する方法を考えているところです。他にもこのビジュアルを見ることが、沢山のインスピレーションをいただきました。」

「今回出演する大分のダンサーたちへ、アドバイスをお願いします。」
「まずはこの舞台を楽しむこと。楽しむためには沢山の練習、稽古を重ねなければなりません。特にこのような古典バレエ作品は様式美を大切に、多くの規則の中で踊らなければなりません。練習は大変ですが、それ乗り越えれば、きっと本番を楽しむことができると思います。」

「大分時代の楽しい思い出や苦しい思い出はありますか?」
「大分では楽しい思い出がありません。」

「大分に帰ってきたら必ず食べる好物はありますか?」
「大分は何でも美味しいので...。まあ、お魚をいただくことが多いでしょう。」



Data
大分県民と創りあげる大分のバレエ
『眠れる森の美女』
2020年2/9(日) ▶ iichiko グランシアタ
[演出・振付] 首藤康之 [指揮] 森口真司 [管弦楽] 眠れる森の美女のための特別オーケストラ
[共催] おおいた洋舞連盟 [時間] 16:00開演
[料金] 一般GS席12,000円、S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円、C席 完売



10/30(水)~11/4(月・祝) 取材日11/1(金) 眠れる森の美女 OITA リハーサル



この日の最後となる18時30分からのリハーサルには、ゲストダンサーの加地暢文さん、林田翔平さんを含む21名が参加。まず、第3幕の幕開けとなるマズルカからスタートし、行進の際のポジションや手の動き、つま先など細部にわたって繰り返し稽古を行いました。「悪くないけど良くもない」と納得のいくまで修正を重ね、ダンサーの動きに対し「最終的に全員の動きが完全に一致するよう、揃えてほしい」と課題を与えました。続いて宝石の精のパートでは、何度も音楽を聴いて考えを巡らせる首藤さん。実際に踊らせた後にダンサーの意見を聞きながら、具体的に振り付けや動きを加えていきます。前回に比べ、作品の全体像が見えてきた今回のリハーサル。本番まであと3カ月、期待が高まります。



ペーテル・パウル・ルーベンスと工房
《ペルセウスとアンドロメダ》1622年以降、油彩・キャンヴァス



マルコ・ザパラーティ
《聖母子》1500年頃、油彩・板



ヨーゼフ・ノイゲバウアー
《リヒテンシュタイン侯フランツ1世、8歳の肖像》
1861年、油彩・キャンヴァス



Bunkamura
ザ・ミュージアム
上席学芸員
宮澤政男さん

300年以上にわたり
受け継がれてきた
美術品はやはりすごい

2019年に建国300年を迎えたり、リヒテンシュタイン侯国は、スイスとオーストリアに挟まれた、世界で6番目に小さな国。「美しい美術品を集めることにこそお金を使うべき」という家訓が代々受け継がれてきた同国は、世界屈指の規模を誇る、3万点にも及ぶ芸術品を所蔵し、その華麗さから、ヨーロッパの宝宝箱、とたとえられています。大分での開催を前に、本展を主催する「Bunkamuraザ・ミュージアム」上席学芸員・宮澤政男さんに見どころを伺いました。

—開催の経緯を教えてください。
本展監修者であり、「リヒテンシュタイン侯爵家コレクション」ファドゥーツ/ウィーン「館長兼ディレクターのヨハン・クレフトナー氏が、たまたま弊館で過去に行った展覧会のポスターを目にしたのがきっかけでお声掛けいただき、この展覧会が実現しました。リヒテンシュタインのコレクションが日本で紹介されるのは、2012年以来2度目。前回とは異なる側面を見せたいというクレフトナー氏のアイデアの元、本展では絵画とともに、貴族の趣向が色濃く反映された陶磁器(主に磁器)を展示する構成となりました。

—実際に現地を訪ねられたそうですね。どのような印象でしたか？
リヒテンシュタインは、国土面積が日本の小豆島と同じくらいの本場に小さな国。現在は金融業

が盛んで、世界屈指の豊かな国として知られています。首都・ファドゥーツの街なかでは、各国の銀行マンが行き交う姿をよく見かけました。一方で、中心部を抜けるのとどかな田園地帯が広がり、丘の上にそびえるお城をはじめ、悠々としたアルプスの山々やライン川など、まるでおとぎ話の中に出てくるような景色が広がる美しい場所です。そんな小さな国で17世紀頃から300年以上にわたり優れた芸術品が収集され、今なおそれらが受け継がれているというのは、やはりすごいことですね。



—その優雅な名品が揃う本展の見どころを教えてください。
ヨーロッパの宝宝箱、とたとえられるその小ささを逆手にとって、大作のポリウム感で見せるというより、各章小さなところに輝く見どころが詰まった内容になっています。

全体はテーマ別に全7章立てです。まず第1章のヘリヒテンシュタイン侯爵家の歴史と貴族の生活は、同国がどのような国かを知っていただくべく、歴代の侯爵の肖像画を中心に展開して

絵画と磁器が共演する、優雅な宮廷空間へ！

『リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展』開催

世界で唯一、侯爵家(=君主)の家名が国名となっているヨーロッパの小国・リヒテンシュタイン。侯爵家秘蔵

の油彩画と優美な陶磁器からなる約130点もの珠玉の名品が、見る人を優雅な世界へと誘います。



磁器：日本・有田窯
金属装飾：イグナーツ・ヨーゼフ・ヴェルト
《青磁色絵鳳凰雲文金具付蓋物》
本体：1690-1710年代、磁器
金属装飾：1775-1785年、鍍金されたブロンズ



います。第2章は聖母子や聖ヨハネなどが描かれた、いわゆるキリスト教絵画を中心とした「宗教画」の章。ヨーロッパの為政者にとってキリスト教絵画を所有するということは重要なことで、一族が熱心な信者であり、また周囲への信仰心を呼び起こす役割が

あったそうです。同じく、第3章「神話画・歴史画」で展開する古代ギリシアやローマにまつわるモチーフが描かれた作品も、社会的・文化的自己提示の演出に役立つたろうといわれています。

そして本展の大きな特徴の一つでもあるのが、第4章「磁器」西洋と東洋の出会いと、第5章「ウィーンの磁器製作所」です。15〜17世紀の大航海時代、ヨーロッパに輸入された中国や日本の磁

器は貴族の間で装飾品として、また実用品としても愛好され、ステータスでもあったそうです。ここで注目すべきは、輸入した東洋の磁器をベースに、独自の感性で意匠や用途を金属の装飾を施してアレンジした作品の数々。一方、まるで油絵をそのままミニチュア化したかのような細密画を描いたり、金の絵の具で漆器の蒔絵を模したものなどもあり、ウィーン窯で製作された繊細な技法が施されたコレクションの卓越した技術に圧倒され、侯爵家ならではの華やかな気品が漂います。

後半の第6章「風景画」、第7章「花の静物画」では、リヒテンシュタイン家が拠点としたウィーンやファドゥーツを取り巻く美しい景色や花々など、自然が描かれた作品が並びます。全体を見終ったときには、まるでひとときお城に招かれたかのような気分になれるのではないのでしょうか。

—大分で本展をご覧になる方々にメッセージをお願いします。
本展は、ルーベンスやクラナハ(父)といった名匠以外に、おそらく初めて耳にするような画家の作品も多いはず。そういった意味では有名無名に関わらず、作品そのものが持つ美しさや力強さを直に体感できると思います。こうした優美な美術品に囲まれた侯爵家の絢爛豪華な宮廷生活を想像しながら、ゆったりとした気分鑑賞を楽しんでいただけたらうれしいですね。

ヨーロッパの宝宝箱
リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展

3/6(金)~4/19(日) ▶大分県立美術 3階 展示室B

【時間】10:00~19:00、金・土曜~20:00※入場は閉館の30分前まで 【料金】一般1,200(1,000)円、大学・高校生800(600)円※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料。学生の方は入場の際、学生証をご提示ください 【問】大分県立美術館 Tel:097-533-4500

A Jewel Box from Europe Treasures from the collections of the Prince of

LIECHTENSTEIN

Next
今後のスケジュール

12/14(土)・15(日)・21(土)・22(日) / 取材日12/14(土)
第19回ミュージカル体験ワークショップ in 佐伯

19回目となるミュージカル体験のワークショップが佐伯市で開催されました。参加者は77名で、一般の部には32名が参加。岡崎亮子さんの歌唱指導と野口アキラさんの振付・演出で、ミュージカル「エリザベート」から「ミルク」の曲目を歌い、演技を行いました。最初は少し遠慮がちだった参加者も、指導を受けるうちに大きな声を出し、感情表現が豊かな動きに変わっていきました。発声のコツや腕を上げる向きなど、指導のポイントは細やかな的確。冗談を交えながらの本格的な指導は、参加者をリラックスさせながら潜在的な表現力を引き出してゆきます。最終日には練習の成果を披露する発表会が行われます。



Next
今後のスケジュール

第20回 ミュージカル体験ワークショップ in 臼杵

2020年1/25(土)・26(日)、2/1(土) 2020年2/2(日) ※希望者全員参加。リハーサル・本番時間未定
レッスン会場 ▶臼杵市民会館 小ホール 発表会場 ▶臼杵市観光交流プラザ

募集定員に達しました!
[定員/時間/参加料] 小学生の部 / 10:30 ~ 13:00 / 20名 / 2,000円、
中学・高校・大学生の部 / 14:30 ~ 17:00 / 20名 / 2,000円、一般の部 / 18:30 ~ 21:00 / 20名 / 3,000円

お申し込み方法などの
詳細はこちら



Next
今後のスケジュール

10/27(日)
**iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ
竹田高校器楽部 ジョイントコンサート**

竹田市総合文化ホール(グランツたけた廉太郎ホール)で、開館1周年の記念としてコンサートを開催しました。竹田高校は、「スタジオ・ジブリ・アニメメドレー」や「パプリカ」などを、ジュニアオーケストラがベートーヴェン作曲「交響曲第1番」から、「軽騎兵序曲」、「トリッチ・トラッチ・ポルカ」などを演奏。合同演奏では、瀧廉太郎の「花」と「ラデツキー行進曲」を演奏し、会場を盛り上げました。聴衆からは「弦楽器の演奏を聴く機会が少なく、最初の音から感動した」などの感想をいただきました。また子どもたちは互いの演奏を聞き合い、合奏を通して交流を深め、それぞれに刺激を受けていました。竹田市のみなさん、ありがとうございました!



ベートーヴェン生誕250年、
そして心躍るウィンナ・ワルツをお楽しみください!

Next
今後のスケジュール

iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 第11回定期演奏会

2020年3/29(日) ▶iichikoグランシアタ

[時間] 13:15開場 14:00開演 ※13:30よりアカデミー生によるロビーコンサートを開催 [料金] (全席自由) 一般 1,000円、学生(高校生以下) 500円、未就学児無料(3歳以下入場不可)、びび割あり [指揮] 梅田俊明 [管弦楽] iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ [曲目] ベートーヴェン/交響曲第1番、ヨハン・シュトラウスII世/トリッチ・トラッチ・ポルカ、美しく青きドナウほか

特別協賛: 三和酒類株式会社
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会
後援: オーストリア大使館、大分県、大分県教育委員会、大分市、NPO法人大分県芸術振、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム

主催・お問合せ: iichiko総合文化センター[(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団] 097-533-4004

チケット
好評
発売中

2019 コレクション展 V

「旅する美術」

古より、私たちは人生そのものを旅にたとえ、旅そのものに多くの思いを寄せてきました。浮世絵の名所絵の数々ももとより、近代以降には、交通手段の発達から画家たちは異境の地に思いをはせるだけでなく、その旅先を訪れ、初めて目にする情景への驚きや感動を様々に描き出しています。コレクション展Vでは、古今東西の作家たちによる旅を契機に生まれた作品を展示します。



江藤純平《ルノアールの庭1 オリーブ園》1963年 寄託品

開催期間

2019年12/6(金)~2020年2/4(火) 休展日1/8(水)

▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室

ギャラリー・トーク 1/19(日)14:00~15:00 ※申込不要、要観覧券

2019 コレクション展 VI

「美の女神たち」

本展は美術作品に表現された女性の姿を中心に展示します。江戸時代の浮世絵師たちが定着させたジャンルである「美人画」に描かれた理想の女性像をはじめ、女性の内面描写をよりリアルに追求した近代以降の絵画、版画、彫刻作品などを、コレクションから厳選してご紹介します。多彩な女性美の世界をご堪能ください。



上村松園《月蝕の宵》1916(大正5)年

開催期間

2020年2/7(金)~4/7(火) 休展日3/4(水)

▶大分県立美術館 3階 コレクション展示室

ギャラリー・トーク 2/9(日)・23(日・祝)、3/8(日)・22(日)14:00~15:00
※申込不要、要観覧券

コレクション展
V・VI共通

[時間] 10:00~19:00 ※金・土曜は20:00まで(入場は閉館の30分前まで) [料金] 一般300(250)円/大学生・高校生200(150)円※()内は20名以上の団体料金、中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※高校生は土曜に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください [問] 大分県立美術館 Tel:097-533-4500

岡本太郎展、開催中!

初期傑作から《太陽の塔》、
幅10mを超える大作《明日の神話》まで!

Data
岡本太郎展

12/26(木)~2020年1/24(金)
▶大分県立美術館 1階 展示室A



岡本太郎ポートレート



岡本太郎《森の掟》1950年



岡本太郎《明日の神話》1968年

写真提供:川崎市岡本太郎美術館

[時間] 10:00~19:00、金・土曜~20:00 (入場は閉館の30分前まで) [休展日] なし [料金] 一般800円(600円)/大学生・高校生 500円(300円)※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びび KOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください [問] 大分県立美術館 Tel:097-533-4500

主催...公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館
企画協力...川崎市岡本太郎美術館

OPAM Report

10/25(金)
スクールミュージアム@臼杵小学校

「The Ukiyo-e 歌川派」展に合わせて開催した、臼杵小学校でのスクールミュージアム。視聴覚室には、「The Ukiyo-e 歌川派」展では展示していない11点の浮世絵を紹介しました。最初に学芸員が浮世絵の歴史や鑑賞のポイントなどを説明し、さらに歌川派の開祖・歌川豊春の臼杵出身説や、それを裏付ける作品である歌川豊春(観梅図)を紹介しました。作品鑑賞では、初めて目にする浮世絵の前に大興奮の子どもたち。浮世絵に描かれた、当時の道具や髪型などを不思議がり、「みんな顔が長いね」「この手に持っているのは何?」「これはいくらで売っていたの?」など、たくさんの質問が飛び交いました。



臼杵市立臼杵小学校



凄い!

世界と日本と大分の「」が会い弾ける

芸術×文化×スポーツの祭典

開催期間 2019.9/20(金)~11/2(土)



RWC2019パブリックビューイング(10/19,10/20)

ラグビーワールドカップ2019™日本大会では大分県も開催地の一つとなり、国内外の観戦者の方々が多数来県され、大いに盛り上がりました。

期間中、iichiko総合文化センター、大分県立美術館においてもウェールズ政府との連携展示や日本文化・地域文化を紹介する展示、準々決勝のパブリックビューイングなど幅広い催しを行うことで、たいへん多くの方々で賑わい、芸術・文化・スポーツの側面から交流を深めることができました。



「大分×ウェールズ友好交流 The Art of Wales展」(9/27~10/27)



ウェールズ国立博物館長講演会(10/8)



ロイヤルハーピスト(英国王室付ハーブ奏者)特別演奏会(10/24)



Approach to The Japanese Culture @OASIS (10/18~10/20)



ジュリア・ブルッカーワークショップ(9/28)



「ナショナル・ダンス・カンパニー・ウェールズ」ダンスパフォーマンス(9/28)



居合演武(10/14)



日田祇園山鉾展示(10/1~10/23)



着付体験「着物で浮世絵展」(10/3,10/4)



おおいたの国宝-The National Treasure of OITA (9/28~10/27)



NEWS

おおいた障がい者芸術文化支援センター開所

11月10日(日)、県内の福祉関係者など220人以上の参加者を迎えて「おおいた障がい者芸術文化支援センター」開所式が盛大に行われました。昨年度、本県で開催された全国障害者芸術・文化祭の成果を、障がい者の芸術文化活動のさらなる発展に繋げることを目的に、大分県と協働して立ち上げたのが「おおいた障がい者芸術文化支援センター」です。

センターでは、障がい者が芸術文化活動を楽しむことのできる環境や体制を整えることができるよう、障がい者自身やその家族、支援者等の相談に応じて、さまざまな機関や人を繋げてサポートします。県内において、障がい者の芸術文化活動の輪を広げることを目指し、また、芸術文化活動を通じて障がい者の社会参加を推進していきます。

Next

今後のスケジュール

おおいた障がい者アート展vol.1 日常のアート

2020年2/5(水)~16(日) ▶大分県立美術館 3階 展示室B

つくりたいから、つくる。描きたいものを、描く。自由に、感じるままに。ここにあるのは、日々の生活の中で生まれた、そんな心の表現です。思いにあふれた彼らの表現は障がいとは関係なく、自分らしさとは何かを教えてください。まっすぐでひたむきなエネルギーに満ちた、それぞれのアートは生きることそのもの。生き生きとした表現を、ぜひご覧ください。

[時間] 10:00~18:00(最終日は17:00まで) [観覧料] 無料
[問] おおいた障がい者芸術文化支援センター(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団内 tel.097-533-4505

ATELIER YAMANAMI EXHIBITION やっぱりぼくにはわからん展 ~やまなみ工房 施設長のホンネ~



中川ももこ「ももこ」

独創的な作品を生み出し続ける障害者施設「やまなみ工房」。アメリカやヨーロッパのアート市場を中心に世界的な注目を集める彼らの展覧会を大分県立美術館にて開催。やまなみ工房のアートをテキスタイルに展開したファッションブランド「DISTORTION3」も併展します。



清家末次「赤の自画像」

ボクラの世界

大分県内で活躍する36人のアーティストの作品と、第37回高山辰雄賞ジュニア美術展で受賞した特別支援学校の児童・生徒たちの作品を展示します。



主催…大分県、(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団

OITA HALL NAVI

おおいたホールナビ

大分県公立文化施設協議会加盟館が主催する舞台芸術公演情報

<p>1/18(土) [開演] 14:00</p> <p>新春ホルトホール寄席 [出] 柳家三之助、三遊亭歌太郎、柳家緑太、のだゆき [料] 一般2,000円、中学生以下1,000円 ※4歳以上入場可 [所] J:COM ホルトホール大分 小ホール [問] 総合事務局 ☎097-576-8877</p>	<p>1/25(土) [開演] 14:00 [終演] 16:15</p> <p>"プラバン・ディズニー!" コンサート [出] 指揮:オリタノボッタ、MC:MARIA-E、演奏:シエナ・ウィンド・オーケストラ [料] 全席指定S席 6,800円、A席 5,800円、学生シート4,000円 ※未就学児入場不可 [所] 日田市民文化会館「ハリア日田」大ホール(やまびこ) [問] ☎0973-25-5000</p>	<p>2/23(日・祝) [開演] 15:00 [終演] 16:00</p> <p>影絵劇団かしの樹 シルエットファンタジー「はらぺこパンダ」 [出] 影絵劇団かしの樹 [料] 一般/大人1,000円、子ども600円 [所] 豊後大野市総合文化センター エトピアおおの 大ホール ステージ [問] ☎0974-22-8000</p>	<p>3/14(土) [開演] 未定</p> <p>オール阪神・巨人 45周年ツアー-in 日田 [出] オール阪神・巨人 はか [料] 全席指定一般4,500円 [所] 日田市民文化会館「ハリア日田」大ホール(やまびこ) [問] ☎0973-25-5000</p>	<p>3/15(日) [開演] 16:00 [終演] 18:00</p> <p>劇団四季ファミリーミュージカル「はだかの王様」 [出] 劇団四季 [料] 全席指定一般4,800円、高校生以下4,200円 ※当日500円増 [所] 中津文化会館 大ホール [問] ☎0979-24-1155</p>
--	--	--	---	--

iiichiko総合文化センター・大分県立美術館 こどもたちへ～芸術文化の学校連携～

iiichiko総合文化センター

iiichiko総合文化センターでは、地域の皆さんのもとへ芸術の持つ楽しみや喜びをお届けするアウトリーチ事業を行っています。この『しあわせアート♡物語』事業を通じて、私たちと皆さんで芸術文化の素晴らしさを共感できる、しあわせな時間を紡いでいきたいという思いを込めています。



『しあわせアート♡物語 ～おでかけクラシックコンサート～』は、

大分県内各地の学校や施設などに音楽家を派遣する取り組みです。「子どもたちに本物の音楽を聴かせたい」という学校の先生方、「日ごろ本格的なクラシック音楽に触れる機会が少ないので演奏に来てほしい」という地域の方々にご活用いただいています。皆さんのもとへ演奏に出かけるのは、このプログラムに必要なスキルと条件を満たし、オーディションで選ばれた大分ゆかりの音楽家たち。県内外で活躍中の若手音楽家たちが、実践のための研修やリハーサルを重ね、丁寧に本番に向けた準備をして、皆さんのために上質な音楽を奏でます。

11/14(木) 竹田市立菅生小学校

ピアノの山田奈津紀さんとソプラノの幾嶋明日香さんが、全校生徒26人の菅生小学校に現れました。ミュージカルナンバーの「アイ・ガット・リズム」で登場すると、子どもたちは迫力ある歌声とリズムカルなピアノに大興奮。山田さんがユニット名「ピアージュ」の意味である“自由になぞらえ、「音楽は答えが一つではありません。今日は皆さんも自由に楽しんでください」と語り、ドキュッシー「ピアノのために」より「プレリュード」では全員をピアノの周りに呼び、音の響きや弦の動きなどを目の前で体験してもらいました。



7つのアレンジの違いを楽しむモーツァルトの「きらきら星変奏曲」の後、山田さんが自ら菅生小学校校歌を様々なアレンジしたもの弾き始めると、子どもたちの表情にも変化が。幾嶋さんと一緒に校歌を歌い終わった瞬間、「すごーい!!!」と感嘆の声が上がりました。続いて演奏した米津玄師の「パプリカ」ではみんなが元気に歌って踊り、音楽を体感。着席後は、オペラ歌手としてオーケストラと一緒に歌うことが夢だと語った幾嶋さんが、ベッリーニのオペラ「気も晴れ晴れと」を歌い上げ、最後に、「夢を諦めないで」という思いを込めて二人が作詞・作曲をしたオリジナル曲「Treasure」を披露し、コンサートは終了。生徒代表から「近くで歌やピアノを聴いて、音の響きがよく分かりました。今後音楽を聴くときは、音の響きを意識したいと思います」と感想が述べられました。盛りだくさんの内容で、充実したコンサートとなりました。



アーティスト紹介 ピアージュ 山田奈津紀さん(ピアノ)・幾嶋明日香さん(ソプラノ)

4～5年前から共に活動を続け、去年「ピアージュ」と命名した二人。今回のコンサートでは「挑戦」をテーマに掲げ、山田さんはアレンジ、幾嶋さんはオペラにチャレンジし、最後には二人で制作したオリジナル曲を披露しました。今後も「音楽の楽しさだけでなく、私たちの想いを込めたメッセージもコンサートを通じて伝えていきたい」と語ってくれました。

大分県立美術館

大分県芸術文化スポーツ振興財団では、学校や地域、関係機関と連携しながら美術館を教育に活用する取り組みを、国の助成などにより進めています。今回は、姫島村で開催した「地域美術館体験講座『スクールミュージアム(姫島小学校・姫島中学校)』」についてご紹介します。

地域美術館体験講座 「スクールミュージアム(姫島小学校・姫島中学校)」 姫島の色～海がつなぐ歴史と文化～

大分県立美術館では、地域に出向き、郷土の名品に出会い、実物ならではの美しさをじっくりと感じ取ってもらう機会を提供しています。令和元年11月15日(金)～17日(日)の3日間、姫島村と姫島村教育委員会のご協力のもと、大分県立美術館の所蔵作品の中から、テーマに沿った33点を姫島離島センターやはずに展示。3日間を通して700名を超える方が会場を訪れました。



スクールミュージアム～県立美術館の作品を姫島離島センターやはずで公開



11/15(金)

10時からのオープニングイベントには、姫島中学校の全校生徒が参加。テープカットの後、グループごとに県立美術館のガイドスタッフに導かれて会場へ入りました。続いて、姫島小学校・保育所・幼稚園の子どもたちも美術作品鑑賞を体験。ガイドスタッフから作品の見方などについてアドバイスを受けて、作品を見て感じたことなどについて、グループで楽しくお話をしたりしながら作品を見ました。エビを描いた福田平八郎のスケッチの、生きているかのような描写力に感嘆したり、国東の画家・江藤哲の作品では大きな画面に描かれた波の表現に注目したり、作品によって子どもたちの反応は様々。同じような魚を描いた2つの作品でも、見方を変えることで、「こっちの魚のほうがおいしそうに見える!」「描き方によって印象が全然違う!」など、子どもたちの中に新しい発見があったようです。会場には、学芸員による作品解説のコーナーもあり、表現の技法や、色使いなど、楽しくレクチャーを受けていました。



11/16(土)・17(日)

2日間、会場周辺で行われる村の文化祭にあわせて、一般の方に作品を公開しました。日頃から美術鑑賞が好きな方から、美術作品に触れる機会の少ない方まで、多くの方々に楽しんでいただきました。

関連行事～スクールミュージアムにあわせて2つの関連行事を開催しました。

11/16(土)・17(日)(各日2回開催) 「ギャラリートーク」

会期中、美術館の学芸員と共に作品鑑賞をする「ギャラリートーク」を実施。作品解説を聞いたり、質問をしたりしながら、楽しく鑑賞しました。



11/16(土)・17(日) 「アート体験講座～姫島の器」

国東市国見町で陶芸工房を主宰する福永泰信さんを講師に、焼き物作りの体験講座を開催。16日は一般の方を対象に、17日は親子で参加する方を対象として開催しました。福永さんの丁寧な指導により、個性的で美しい作品ができました。



浮世絵「歌川派」開祖・歌川豊春の 白杵を巡る **びび**会員限定 日帰りバスツアー



「The Ukiyo-e 歌川派」展の関連企画として、白杵日帰りバスツアーを開催しました。最初に、OPAMにて学芸員のガイド付きで浮世絵展を鑑賞した後、白杵へ移動。老舗料亭 喜楽庵で、大正時代の趣のある庭園や料亭が所有する浮世絵を眺めながら、白杵の旬の食材を使った会席料理を堪能しました。昼食後は、稲葉家下屋敷と二王座歴史の道を訪れ、今もなお色濃く残る城下町の町並みを、地元ガイドの説明を聞きながら散策。最後に立ち寄った白杵市歴史資料館では、豊春の白杵出身説を裏付けるような興味深い史料なども展示されており、参加者たちは熱心に見入っていました。「豊春や白杵について知ることができ、とても勉強になりました」「バスで連れてきてもらって、さらに説明まであってありがたかった」などの感想が聞かれ、謎の多い「歌川派」の開祖、豊春の白杵出身説に迫るツアーとなりました。

大分県芸術文化友の会



特典がいっぱい！

びびメンバー大募集！

びびとは、大分県立美術館（OPAM）とiichiko総合文化センターを中心に、大分県の芸術・文化を多くの皆さんに楽しんでもらうメンバーシップです。最新情報が届くメールマガジンの配信のほか、有料会員になると様々な特典が、コンサートや展覧会などをお得に楽しめます。

● 有料会員特典内容の一例

お友だちの分も一緒にOK!
※枚数制限があります

特典1
先行予約
ができる

特典2
チケット割引
がある

iichiko総合文化センターが主催、共催または指定する公演のチケットが一般発売前に10%割引等メンバー価格で購入できます。※主催の公演であっても、公演やチケットの種類によっては特典の内容が異なる場合があります。

企画展・コレクション展は
何回観ても無料!!
※KOTOBUKI・TAKASAGO限定

特典3
無料鑑賞・割引
がある

大分県立美術館（OPAM）主催の企画展の無料鑑賞や内覧会ご招待など。

特典4
駐車場券
進呈

メンバー有効期限内、法人は40時間（8,000円分）、KOTOBUKIは25時間（5,000円分）、TAKASAGOは10時間（2,000円分）の駐車場券を進呈します。

特典5
各種
サービス
がある

大分県内80カ所の「びびSHOP」で、割引やプレゼントなどの特別サービスが受けられるほか、「OPAM Museum Shop」での5%割引（一部商品を除く）も。九州内の指定美術館でも団体料金で観覧できます。

● メンバーステージと年会費

法人	KOTOBUKI	TAKASAGO	UME	MEJIRO
50,000円 (1口)	10,000円	5,000円	2,500円	無料

※メンバー期間は入会日または更新日から1年経過した日の属する月の月末までです。

◎入会は随時受け付けています。
◎メンバーズカードは、会費の納入を確認後、1～2週間後に郵送いたします。いったん納められた会費の払い戻しはいたしません。
◎特典内容はメンバーズステージによって異なります。

今回の表紙の写真は…



大分県立美術館 3階 ホワイエの天井です。

写真の大分県立美術館の3階ホワイエに架かる起伏のある木の屋根は、大分県の伝統工芸でもある竹工芸の六つ目編みのパターンからヒントを得た大分県産の杉材の骨組みとなっています。テントで覆ったホワイエは、季節や天候に応じて明るさが変化します。また、ホワイエの中には屋根のパターンに合わせた6角形の中庭が設けられ、彫刻などの展示が可能な屋外展示スペースとなっています。一般的に美術館は閉鎖的ではありますが、OPAMではこのように外部環境が感じられる空間が作られています。

● 問合せ・申込先

(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
大分県芸術文化友の会 びび

〒870-0029 大分市高砂町2-33 E-mail bivi@opam.jp
tel.097-533-4025 / fax.097-533-4050

申込方法等の詳細はHPへ。/

びび友の会

http://www.opam.jp/bivi